

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(デザイン工学研究科 建築学専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤科目	造形デザイン概論	1②		2		○			1						※1
	近現代デザイン概論	1④		2		○			1						
	環境工学概論	1①		2		○			1						
	景観デザイン概論	1①		2		○							兼1		
	地域・都市再生概論	1②		2		○							兼1		
	環境技術英語	1①～②		2		○							兼1		
	ビジネスアカウンティング	1③～④		2		○							兼1		
	知的財産権論	1③		2		○							兼1		
	現代産業論	1②		2		○							兼1		
小計(9科目)	—	0	18	0	—			3	0	0	0	0	兼6	—	
基盤科目	設備計画概論	1②		2		○			1						※1
	建築史概論	1②		2		○			1						
	地震工学概論	1④		2		○			1						
	鉄筋コンクリート構造概論	1③		2		○							兼1		
	小計(4科目)	—	0	8	0	—			3	0	0	0	0	兼1	
専門科目	建築構造力学特論	1① 2①		2		○			1						※2
	曲面構造特論	1③ 2③		2		○			1						
	構造解析特論	1①～② 2①～②		2		○			1						
	連続体力学特論	1①～② 2①～②		2		○			1						
	シェル・空間構造特論	1② 2②		2		○			1						
	特殊環境特論	1① 2①		2		○			1						
	建築設備特論	1③ 2③		2		○			1						
	都市解読方法特論	1④ 2④		2		○			1						
	建築設計特論	1③～④ 2③～④		2		○			1						
	建築思潮特論	1③ 2③		2		○							兼1		
	空間解析特論	1① 2①		2		○			1						
	住宅計画特論	1④ 2④		2		○							兼1		
	都市形成史特論	1② 2②		2		○							兼1		
	小計(13科目)	—	0	26	0	—			8	0	0	0	0	兼3	
※キャリア3年コースのみ 専門科目(学部合併科目)	部材の力学	1①～②		2		○			1						
	材料の力学	1①		2		○			1						
	西洋建築史	1③～④		2		○			1						
	近現代建築史	1③～④		2		○			1						
	建築と文化	1①～②		2		○			2				オムニバス		
	日本建築史	1①～②		2		○			1						
	建築と都市の歴史	1①～②		2		○			2				オムニバス		
	都市史	1③～④		2		○			1						
構法各論	1③～④		2		○			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
※専門科目(学部合併科目のみ)	建築構法	1①～②		2		○			1						
	デザインスタジオ3	1①～②		3			○		1	1				兼4	共同担当
	デザインスタジオ4	1③～④		3			○		2					兼4	共同担当
	建築造形論	1①～②		2		○			1						
	建築のデザイン	1③～④		2		○			4						オムニバス
	アーバンデザイン	1①～②		2		○			1						
	サステイナブルデザイン	1③～④		2		○			1						
	光・視環境	1①～②		2		○			1						
小計(17科目)		—	0	36	0		—	11	1	0	0	0	兼8	—	
スタジオ科目	デザインスタジオ8	1①～② 2①～②		6			○		4	1				兼1	共同担当
	デザインスタジオ9	1③～④ 2③～④		6			○		2					兼4	共同担当
	デザインスタジオ10	1①～② 2①～②		6			○		2					兼4	共同担当
	デザインスタジオ11	2③～④		6			○		7	1				兼1	※4 ※5
	デザインスタジオX	1③ 2③		2			○		12	1					集中
	建築プロフェッショナル総合演習1	1①～② 2①～②		4			○		1	1				兼4	オムニバス
	建築プロフェッショナル総合演習2	1③～④ 2③～④		4			○		1	1				兼4	オムニバス
	建築インターンシップ	1② 2②		8				○	12	1					集中
小計(8科目)		—	0	42	0		—	12	1	0	0	0	兼14	—	
プロジェクト科目	建築学修士研修Ⅰ	1①～②		2			○		12	1					※3
	建築学修士研修Ⅱ	2①～②		2			○		12	1					※4
	建築学修士プロジェクトⅠ	1③～④		3			○		12	1					※3
	建築学修士プロジェクトⅡ	2③～④		3			○		12	1					※4
	小計(4科目)		—	0	10	0		—	12	1	0	0	0	—	—
合計(55科目)			—	0	140	0		—	12	1	0	0	0	兼31	—
学位又は称号	修士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係									
修了要件及び履修方法						授業期間等									
<p>学生は、修士論文が修了時の提出義務となる「ラボ系」と修士設計が修了時の提出義務となる「スタジオ系」のどちらかを入学直後に選択しなければならない。また、入学経路には「選抜1年コース」、「総合2年コース」、「キャリア3年コース」があり、コースによって修了要件が異なる。</p> <p>1. 各系ごとの修了要件は以下の通りである。  <b>■1</b>「ラボ系」は、コースを問わず「共通基盤科目」と「基盤科目」から合計4単位以上を履修しなければならない。ならびに「建築学修士研修Ⅰ・Ⅱ」及び「建築学修士プロジェクトⅠ・Ⅱ」を必修とする。かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、最終試験に合格しなければならない。  <b>■2</b>「スタジオ系」の「選抜1年コース」は「デザインスタジオ10」及び「デザインスタジオ11」を必修とし、「総合2年コース」と「キャリア3年コース」は「デザインスタジオ11」を必修とし、加えてそれ以外のスタジオ科目から18単位以上を履修しなければならない。かつ、必要な研究指導を受けた上、修士設計を提出し最終試験に合格しなければならない。</p> <p>2. 各コースごとの修了要件は以下の通りである。  <b>■1</b>「選抜1年コース」は修了所要単位30単位。  <b>■2</b>「総合2年コース」は修了所要単位30単位。  <b>■3</b>「キャリア3年コース」は専門科目(学部合併科目)から、8単位以上(ただし、修了要件としての認定は15単位を上限とする)を履修し、修了所要合計単位45単位とする。</p> <p>※1 「キャリア3年コース」の配当年次は1・2年となる(学期区分は変更なし)。  ※2 「キャリア3年コース」の配当年次は2・3年となる(学期区分は変更なし)。  ※3 「キャリア3年コース」の配当年次は2年となる(学期区分は変更なし)。  ※4 「キャリア3年コース」の配当年次は3年となる(学期区分は変更なし)。  ※5 「選抜1年コース」の配当年次は1年となる(学期区分は変更なし)。</p> <p>※他専攻科目の履修方法、他大学院における履修単位の認定等については、法政大学大学院学則の定めによる。</p>						<p>1学年の学期区分</p> <p>4学期制</p>									
						<p>1学期の授業期間</p> <p>7.5週</p>									
						<p>1時限の授業時間</p> <p>90分</p>									

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(デザイン工学研究科 建築学専攻 博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	建築構造分野研究論考	1①～②		2		○			3						
	建築環境分野研究論考	1①～②		2		○			2						
	建築計画分野研究論考	1①～②		2		○			5						
	建築史分野研究論考	1①～②		2		○			2						
	小計(4科目)	—	0	8	0				12	0	0	0	0	—	—
プロジェクト科目	建築学博士プロジェクトⅠ	1通	4				○		12						
	建築学博士プロジェクトⅡ	2通	4				○		12						
	建築学博士プロジェクトⅢ	3通	6					○	12						
	小計(3科目)	—	14	0	0				12	0	0	0	0	—	—
合計(7科目)		—	14	8	0				12	0	0	0	0	—	—
学位又は称号	博士(工学)		学位又は学科の分野				工学関係								
修了要件及び履修方法							授業期間等								
専門科目2単位を含む16単位以上を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間については、博士前期課程に2年以上在籍し、当該課程を修了した者で、特に優れた研究業績が認められた者に限り、博士後期課程に1年以上在学すれば足りる。 ※他専攻科目の履修方法、他大学院における履修単位の認定等については、法政大学大学院学則の定めによる。							1学年の学期区分			4学期制					
							1学期の授業期間			7.5週					
							1時限の授業時間			90分					

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(デザイン工学研究科 都市環境デザイン工学専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通基盤科目	造形デザイン概論	1②		2		○								兼1	この3科目のうち1科目以上を履修 ※1	
	近現代デザイン概論	1④		2		○								兼1		
	環境工学概論	1①		2		○								兼1		
	景観デザイン概論	1①		2		○			1							
	地域・都市再生概論	1②		2		○								兼1		
	環境技術英語	1①～②		2		○								兼1		
	ビジネスアカウンティング	1③～④		2		○								兼1		
	知的財産権論	1③		2		○								兼1		
	現代産業論	1②		2		○								兼1		
	小計(9科目)	—	0	18	0	—			1	0	0	0	0	兼8		—
基盤科目	都市環境デザイン工学基礎1	1①	2			○			3						オムニバス	この4科目のうち1科目以上を履修 ※1
	都市環境デザイン工学基礎2	1②	2			○			4						オムニバス	
	災害リスクマネジメント概論	1④	2			○								兼1		
	水循環システム概論	1③	2			○								兼1		
	材料科学概論	1②	2			○			1							
	小計(5科目)	—	2	8	0	—			7	0	0	0	0	兼2	—	
専門科目	都市交通マネジメント	1③ 2③	2			○			1						この4科目のうち1科目以上を履修	
	空間情報デザイン	1② 2②	2			○			1							
	比較都市環境デザイン	1④ 2④	2			○			1				兼2	オムニバス		
	自然環境共生論	1③～④ 2③～④	2			○							兼1			
	流域水マネジメント	1④ 2④	2			○							兼1	この4科目のうち1科目以上を履修		
	水域環境の保全	1③ 2③	2			○							兼1			
	応用水文学	1② 2②	2			○			1							
	地盤・地下水環境保全学	1① 2①	2			○			1							
	鋼構造の疲労	1① 2①	2			○			1					この6科目のうち1科目以上を履修		
	社会基盤施設の資産管理	1② 2②	2			○							兼1			
	鋼橋の点検・診断・対策技術	1③ 2③	2			○							兼1			
	複合材料構造解析	1③～④ 2③～④	2			○							兼1			
	ライフサイクルエンジニアリング	1①～② 2①～②	2			○			1				兼3		オムニバス	
	耐久性力学	1④ 2④	2			○			1							
小計(14科目)	—	0	28	0	—			6	0	0	0	0	兼10	—		
※専攻科目(学部合併科目のみ)	空間景観技法	1④	2			○			1						*選択必修科目から8単位以上を履修	
	国土形成史	1①	2			○							兼2	共同担当		
	河川環境工学	1②	2			○			1				兼1	共同担当		
	地域デザイン概論	1②	2			○							兼1			
	コンクリート工学	1②	2			○			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
※専門科目(学部併科科目のみ) キャリア3年コース	鋼構造デザイン	1③		2		○			1					兼1 共同担当			
	RC構造デザイン	1③		2		○								兼2 共同担当	*選択必修		
	構造力学2	1③		2		○								兼1			
	都市計画	1③		2		○			1					兼1 共同担当	*選択必修		
	交通計画・演習	1②		2			○		1								
	地盤力学2	1③		2		○			1								
	水理学2	1①		2		○			1					兼1 共同担当			
	水資源工学	1①～②		2		○								兼1	*選択必修 科目から8単位以上を履修		
	デザインスタジオ1	1①～②		3			○		1					兼5	*選択必修		
	デザインスタジオ2	1③～④		3			○		1					兼1	*選択必修		
	耐震工学	1④		2		○								兼1	*選択必修		
	プロジェクトマネジメント	1②		2		○								兼1			
	水文学	1①		2		○			1					兼1 共同担当			
	有限要素法基礎	1③		2		○								兼1			
地図と測量	1①		2		○			1									
小計(20科目)	—		0	42	0	—		7	0	0	0	0	兼16	—			
スタジオ科目	サステイナブル都市デザイン	2①		2			○		1						この3科目のうち1科目以上を履修 ※4		
	水環境デザイン	2①		2			○		1								
	構造解析と設計	2①		2			○						兼1				
	小計(3科目)	—		0	6	0	—		2	0	0	0	0	兼1	—		
プロジェクト科目	都市環境デザイン工学研究1	1通	4				○		7						※3		
	都市環境デザイン工学研究2	2通	6					○	7						※4		
	小計(2科目)	—	10	0	0	—			7	0	0	0	0	—	—		
合計(53科目)		—	12	102	0	—			7	0	0	0	0	兼36	—		
学位又は称号	修士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係											
修了要件及び履修方法						授業期間等											
各コースごとの修了要件は以下の通りである。 ■1■総合2年コース:2年以上在学して30単位以上を取得しなければならない。 ■2■キャリア3年コース:専門科目(学部併科科目)は、デザイン工学部都市環境デザイン工学科の科目を指し、キャリア3年コースの研究科生が1年次に履修する科目である。上記科目のうち、選択必修科目8単位以上を含む計8単位以上を履修しなければならない。ただし、修了要件としての認定は計15単位を上限とする。3年以上在学して45単位以上を取得(学部併科科目の8単位以上を含む)。 かつ、両コースとも必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、最終試験に合格しなければならない。 ※1「キャリア3年コース」の配当年次は1・2年となる(学期区分は変更なし)。 ※2「キャリア3年コース」の配当年次は2・3年となる(学期区分は変更なし)。 ※3「キャリア3年コース」の配当年次は2年となる(学期区分は変更なし)。 ※4「キャリア3年コース」の配当年次は2年となる(学期区分は変更なし)。 ※他専攻科目の履修方法、他大学院における履修単位の認定等については、法政大学大学院学則の定めによる。						1学年の学期区分						4学期制					
						1学期の授業期間						7.5 週					
						1時限の授業時間						90 分					

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(デザイン工学研究科 都市環境デザイン工学専攻 博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	都市プランニング論	1①～②		2		○			3						
	環境システム論	1①～②		2		○			2						
	施設デザイン論	1①～②		2		○			2						
	小計(3科目)	—	0	6	0	—			7	0	0	0	0	—	—
プロジェクト科目	都市環境デザイン工学特別研究1	1通	4				○		7						
	都市環境デザイン工学特別研究2	2通	4					○	7						
	都市環境デザイン工学特別研究3	3通	6					○	7						
	小計(3科目)	—	14	0	0	—			7	0	0	0	0	—	—
合計(6科目)		—	14	6	0	—			7	0	0	0	0	—	—
学位又は称号	博士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
専門科目2単位以上、ならびにプロジェクト科目14単位を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間については、博士前期課程に2年以上在籍し、当該課程を修了した者で、特に優れた研究業績が認められた者に限り、博士後期課程に1年以上在学すれば足りる。 ※他専攻科目の履修方法、他大学院における履修単位の認定等については、法政大学大学院学則の定めによる。						1学年の学期区分			4学期制						
						1学期の授業期間			7.5 週						
						1時限の授業時間			90 分						

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(デザイン工学研究科 システムデザイン専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通基盤科目	造形デザイン概論	1②		2		○									兼1	—
	近現代デザイン概論	1④		2		○									兼1	
	環境工学概論	1①		2		○									兼1	
	景観デザイン概論	1①		2		○									兼1	
	地域・都市再生概論	1②		2		○									兼1	
	環境技術英語	1①～②		2		○									兼1	
	ビジネスアカウンティング	1③～④		2		○									兼1	
	知的財産権論	1③		2		○									兼1	
	現代産業論	1②		2		○									兼1	
	小計(9科目)	—	0	18	0	—			0	0	0	0	0	0	兼9	
基盤科目	テクニカルライティング	1①～②		2		○									兼1	—
	プレゼンテーション技法	1③～④		2		○									兼1	
	ヒューマンサイエンス論	1①～②		2		○									兼1	
	コンピュータサイエンス論	1③～④		2		○									兼1	
	コンセプトデザイン論	1①		2		○			1							
	美学・意匠論	1①～②		2		○									兼1	
	身体表現論	1③～④		2		○									兼4	
	システムデザイン特別講義	1②		2		○			1						集中	
	小計(8科目)	—	0	16	0	—			2	0	0	0	0	0	兼9	
専門科目	ソシオシステムデザイン論	1①～② 2①～②		2		○			1							—
	インダストリアルデザイン論	1② 2②		2		○			1							
	インタフェースデザイン論	1③～④ 2③～④		2		○			1							
	製品デザイン原論	1①～② 2①～②		2		○									兼1	
	マンマシンデザイン論	1① 2①		2		○			1							
	知能機械デザイン論	1③ 2③		2		○			1							
	知能情報技術論	1④ 2④		2		○			1							
	可視化情報処理論	1② 2②		2		○			1							
	サイバー空間表現論	1①～② 2①～②		2		○			1							
	構造デザイン論	1③～④ 2③～④		2		○			1							
	生産システム経営論	1③ 2③		2		○			1							
	プロダクションデザイン論	1① 2①		2		○			1							
	マネジメントサイエンス論	1④ 2④		2		○				1						
	システム工学論	1③～④ 2③～④		2		○									兼1	
	品質マネジメント論	1①～② 2①～②		2		○									兼1	
小計(15科目)	—	0	30	0	—			11	1	0	0	0	0	兼3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
スタ タ ジ オ	システムデザインワークショップ(PBL)	1④ 2④		2				○	3						オムニバス・集中
	マネジメントプロジェクト(PBL)	1② 2②		2				○	1						兼1 オムニバス・集中
	小計(2科目)	—	0	4	0	—			4	0	0	0	0	兼1	—
プ ロ ジ エ ク ト 科 目	システムデザイン修士研修Ⅰ	1通	2					○	11	1					
	システムデザイン修士研修Ⅱ	2通	2					○	11	1					
	システムデザイン修士プロジェクトⅠ	1通	3					○	11	1					
	システムデザイン修士プロジェクトⅡ	2通	3					○	11	1					
	小計(4科目)	—	10	0	0	—			11	1	0	0	0	—	—
合計(38科目)		—	10	68	0	—			11	1	0	0	0	兼22	—
学位又は称号	修士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係									
修了要件及び履修方法							授業期間等								
修了要件:2年以上在籍し, 30単位(共通基盤科目と基盤科目の3科目6単位以上を含む)以上を取得し, 修士論文あるいは作品を提出し, 最終試験に合格しなければならない。 ※他専攻科目の履修方法, 他大学院における履修単位の認定等については, 法政大学大学院学則の定めによる。							1学年の学期区分		4学期制						
							1学期の授業期間		7.5 週						
							1時限の授業時間		90 分						

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(デザイン工学研究科 システムデザイン専攻 博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	デザイン創生学特論	1①～② 2①～②		2		○			3					} オムニバス
	知能システムデザイン特論	1①～② 2①～②		2		○			3					
	シミュレーションデザイン特論	1③～④ 2③～④		2		○			3					
	システムマネジメント特論	1③～④ 2③～④		2		○			2	1				
	小計(4科目)	—	0	8	0	—			11	1	0	0	0	—
プロジェクト科目	システムデザイン博士研修Ⅰ	1通	1				○		11					
	システムデザイン博士研修Ⅱ	2通	2				○		11					
	システムデザイン博士プロジェクトⅡ	2通	3					○	11					
	システムデザイン博士研修Ⅲ	3通	2				○		11					
	システムデザイン博士プロジェクトⅢ	3通	3					○	11					
	小計(5科目)	—	11	0	0	—			11	0	0	0	0	
合計(9科目)		—	11	8	0	—			11	1	0	0	0	—
学位又は称号		博士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係							
修了要件及び履修方法							授業期間等							
専門科目2科目4単位以上を含む15単位以上を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間については、博士前期課程に2年以上在籍し、当該課程を修了した者で、特に優れた研究業績が認められた者に限り、博士後期課程に1年以上在学すれば足りる。  ※他専攻科目の履修方法、他大学院における履修単位の認定等については、法政大学大学院学則の定めによる。							1学年の学期区分		4学期制					
							1学期の授業期間		7.5 週					
							1時限の授業時間		90 分					